

優良な水稻種子の安定供給体制を整備するための専用施設導入事業 (JA美馬)

背景・課題

JA美馬では、県内唯一の水稻種子生産拠点の役割を担うため、温暖化に強い高温耐性品種「あきさかり」等の優良な水稻品種の安定供給に必要な拠点整備が課題となっていた。

補助内容

- ◆対象期間：平成29～令和元年度 ※平成30年度から令和元年度は、別の企画提案型事業として実施
- ◆補助対象：（平成29年度）種子専用貯蔵施設，（平成30年度～令和元年度）種子専用調製施設
- ◆補助金額：（平成29年度）2,000万円，（平成30年度）2,000万円，（令和元年度）2,000万円

主な取組

- ◆高温耐性の水稻品種「あきさかり」を新たに生産開始するにあたり、既存の水稻品種と区分して保管する専用貯蔵施設を整備。

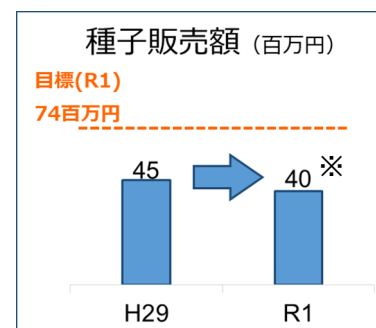


- ◆さらに、比重選別機、光選別機等の各種調製設備を備え、品種の切替作業が省力的な種子センターを新たに整備。



主な成果目標の達成状況

- ◆需要が急拡大する「あきさかり」の種子増産に向け、生産ほ場の転換を優先し、目標達成は後ろ倒し。



<あきさかり>

- ◆2年連続(H30,R1)特A米を獲得
- ◆作付面積は急拡大
474ha (H29) → 1,740ha (R1)

※品種転換した種子生産ほ場は、転換前の品種が混入するのを防止する観点から、種子用販売できない。R3年以降、種子販売額は増加に転じる見込み。

今後の取り組み

- ◆「あきさかり」を中心に種場面積を拡大し、県外産より安価な県産優良種子安定供給に取り組む。